

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表										
法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の 特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、様々な事業展開を行っています。当事業所は「ファミリアいしづかの理念」に基づき、馴染みの地域でいつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。					
事業所名	ファミリアいしづか	管理者	藤井 由紀							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	4人	人	9人
項目	前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果		意見		今回の改善計画			
A. 事業所自己評価の確認	職員個々の研修計画に沿い、研修を受講し介護の質を高めていく。		職員個々の研修計画に沿い、研修を受講し職員で研修内容を情報共有し、事業所全体で介護の質を高める努力を行う事ができた。		事業所自己評価に前向きに取り組んでいた。スタッフ個別評価は、個々に考え方が違うと評価は難しい。		スタッフ個別評価を行う前に、職員に自己評価について説明し、同じ認識のもと取り組む。			
B. 事業所のしつらえ・環境	年に2回の大掃除を実施。事業所内・外の環境整備に努める。		年に2回の大掃除を実施した。また、事業所周りの草取り等環境整備に務めた。		日中、事業所の玄関になぜ鍵を掛けてはいけないのか。事業所から出てしまい事故にあう方が問題ではないか。		年に2回の大掃除と、事業所周りの環境整備に努める。			
C. 事業所と地域のかかわり	利用者が住む近隣の方に、心配な方がいないか、いつでも相談にのる事を発信していく。		事業所の一番目立つ窓に張り紙をし、いつでも相談に乗ることを発信した。現在相談はない。		地域の方々に事業所を知って頂くためにインスタを活用しているが、年配の方も分かるようにチラシを作成し回覧したらどうか。		地域の方に事業所を知って頂くよう、行事の際にチラシを作成し、回覧板で回して頂く。			
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所周りを散歩中や、職員の出勤時等、近所の方との関りを深めていく。		事業所周りで近所の方々に、積極的に挨拶を行い、関わる事ができた。		ドライブに出かけているのは分かるが、外部と交流があるのかは分からない。民生委員に確認すれば、行事を教えてくれる。		民生委員に地区の行事を伺い、本人の地域の行事に参加する。都度、運営推進会議メンバーに報告を行う。			
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で、地域の心配な方等の事例検討を行う。		運営推進会議内で、地域の心配な方等いらっしゃるか問いかける事ができた。事例検討を行うまでは出来なかった。		運営推進会議での意見をどう反映されたか、報告が欲しい。町内会がどう関わりを持てばよいか分からない。小さい事でも話題に上がると良い。		運営推進会議で、地域の心配な方等の問いかけを行いお聞きした事について一緒に検討を行っていく。町内の一員として、町内の出来事を教えて頂ける様、問いかけを行う。			
F. 事業所の防災・災害対策	継続して避難訓練を行う。BCP訓練を年4回行い、災害に備える。		避難訓練、BCP訓練を行うことができた。		防災訓練を実施しているが、実際災害発生時は地域との連携は難しいのでは。事業所の防災計画を運営推進会議メンバーに周知しない限り「わからない」のままではないか。		継続して避難訓練を行う。運営推進会議メンバーに事前に防災計画を周知してもらう。			